



地域連携活動を
止めるな!!

産大生と地域のかけ橋

ローカレッジ

Local × College



アマビエさま

特集① “美味しい” はコロナに負けない

柏崎エール飯

柏崎市内のテイクアウト情報を
産大生が Twitter で紹介 !!

ピックアップ! 中華美食館・Cafe Confine



特集② コロナ禍でも
地域連携活動は止まらない!

松井まさみちオンラインライブ
オンラインオープンキャンパス
博物館学芸員課程 学内実習 ほか



まちかど研究室

比角小とSDGs「理想のまち」づくり
半田小とオンライン交流会
商店街でヒアリング調査



オンラインで成果発表会

「地域理解ゼミナール」初の合同発表会を開催!

NSU学生広報チーム始動!!



～ お店の方から ～
前向きに飲食店がコロナの影響で
新しいかたちが変わっていますが
お店での過ごし方をお互いに気を
付けながら活動していきたいです。



柏崎市駅前 2-1-52 カワバタビル 1F
営業時間 11:00～16:00
定休日 日曜、月曜

TEA ENSEMBLE



～ 人気メニュー ～
★ランチボックス

オーナーこだわりの
紅茶が楽しめる

3 軒目
私たちがテイクアウトしたのは、ランチ
BOX LとランチBOX M(Aセット)で
す！とても美味しく頂きました。今回購入
したものの以外にもケーキやスコーンなどの
テイクアウトもしているそうです。
平成29年度『ローカレッジ』Vol.6にも
取材にご協力いただきました。
10月末現在もテイクアウトは続けていま
すが、臨時休業の場合があるのでHPを確
認することをお勧めします。

UMICAFFE DONA



～ 人気メニュー ～
★玄米ランチボックス



柏崎市宮川 2359
営業時間 11:00～14:00
テイクアウト予約受付時間
10:00～16:00
定休日 日曜、月曜 (1,2月完全休業)

～ お店の方から ～
柏崎の海を眺めながらの
ランチタイムをぜひ楽し
んでください。
お待ちしております。

特集① “美味しい”はコロナに負けない #柏崎エール飯

今、私たちが地域のためにできること・・・

今年度、私たちはコロナ禍で地域連携活動が思うようにできない状況が続いていました。そんな状況下で私たちが
地域のために何ができるのかを話し合い、模索する中で、地域の方が企画する「#柏崎エール飯」という活動を知り、
興味を持ちました。私たちはこの活動を学生や地域の人に伝えたいと考え、5月下旬から7月中旬にかけて計13店
舗を実際にテイクアウトで利用し、お店の人に取材をして、現状についてTwitterを利用して発信をしてきました。

～ お店の方から ～
公園と隣接しているのでお散歩がて
ら来てほしいです。開放的な店で入
りやすく密を避けた食事ができると思
います。

里山 Cafe I'm Home

1 軒目
夢の森公園の
施設内にある
アットホームカフェ



軽井川 4544-1 夢の森公園エコハウス内
営業時間 9:00～16:00
定休日 火曜日



～ 人気メニュー ～
★ガパオライス
★からあげ丼

私たちはカリフォルニア丼と唐揚げ丼を
購入しました。お手頃価格なのにしっかり
ボリュームもあり満足できます！この店
ではLINEでも注文ができるそうです。
10月末現在もテイクアウトは継続して
おり、5品以上購入で配達も行っているそ
うです。事前予約が必要なメニューもあるの
でお気を付けください。

2 軒目
美味しいコーヒーと
焼きたてのパンで
プチ贅沢

GROWRENCE CAFE

～ お店の方から ～
お店は朝8時から営業しているので
忙しい平日こそ早起きして出勤前に
プチ贅沢を楽しむのもいいですね。



～ 人気メニュー ～
★優しい甘さとかわいい
ラテアートのカプチーノ

私たちはBLTサンドとグロウレンス
ピザを購入しました。20種類のコーヒ
メニューを楽しめますので、コーヒ
好きな人におすすめです。
10月末現在もテイクアウトは続けてい
ますが、ランチBOXは4箱以上の注文
が3日以上前に必要とのことでした。ピ
ザやサンドウィッチなどは予約不要、カ
プチーノは1分ほどで用意できるそう
です。

5 軒目
北海道産の小豆を
使用した老舗あんこ屋

甘味処 館庵



～ 人気メニュー ～
・イチジクパフェ

私たちは、あんみつといちご白玉、そ
して6月新メニューのあんこラテ(こし
あんラテ)をテイクアウトしました。
製菓所直営の甘味処という事であんこが
とても美味しいです。それ以外にも老舗
あんこ屋ならではの美味しい和スイーツ
が味わえます。夏季限定メニューの【あ
んこラテ】もおススメです。
10月末現在も予約することでテイクア
ウトは可能です。電話かFAXでお問
合わせください。

～ お店の方から ～
10月のおすめは『クリーム
白玉あんみつ』です。



柏崎市東本町 1-2-31
営業時間 10:00～18:30
定休日 日曜日

※ 本文内のテイクアウト情報は、実際に店舗を訪れ、ツイートをを行った2020年5月中旬～7月中旬当時の情報と、
10月末に追跡調査をした際の情報から構成しているため、2021年3月現在と異なる場合があります。
「#柏崎エール飯」公式サイト <https://kashiwazaki-yell-meshi.com/> 及び、各店舗でご確認ください。



産業文化会館 レストランサンブン

9 軒目

柏崎の 穴場的レストラン

～お店の方から～
テイクアウトではないですが、ランチに限りライスのおかわり自由で大盛りにできるのでぜひ来てください！



～人気メニュー～
★オムライス
★ハンバーグ

柏崎市駅前 2丁目 2-45
営業時間 11:00～14:00 で短縮営業
定休日 第1月曜日

柏崎駅から徒歩6分のところにあります。オムライスとナポリタンをテイクアウトしました。ナポリタンには海老やアサリが入っていて美味しかったです。貸し切り営業もやっているので是非！
また、平成29年度『ローカレッジ』Vol.6で地域通貨「風輪通貨」を利用できるお店として、取材にご協力いただいています。風輪通貨の公式サイトにも登場いただいています。テイクアウトは現在も続けていますが、イートインがメインになっています。

10 軒目 柏崎産の 玉ねぎを使用した パスタが自慢

柏崎駅前アルフォーレ近くにある「Angelo」。私たちはマルゲリータとしますの、パスタを頂きました。他にもメニューがたくさんあるので自分好みを探してみたいかたがぜひいかがでしょうか？
そして、「Angelo」では、パスタとピザの両方を注文すると200円引きになります！さらに、容器の持ち込みで50円引きとなります！みなさんもぜひ「お得に」味わってみてください！テイクアウトは現在も行っています。

Angelo-



～人気メニュー～
★アマトリチャーナ



柏崎市鏡町 1-32
営業時間 10:00～14:30
定休日 土曜、日曜、祝日

無添加生地の こだわりのパン

11 軒目

柏崎の松美にある「natural bakery しましま」は、2019年3月にオープンした無添加にこだわったパン屋さんです。ぜひ足を運んでみてください。私たちが購入したのは、国産バターを使用したクロワッサンや、小さな子どもも食べられるこめこっぺなどと、夏限定果汁120%のソーダードリンクです。どれも美味しかったです！イートインも可能です。テイクアウトは現在も行っています。

natural bakery しましま

～お店の方から～
焼きたてのパンをご用意しています！



柏崎市松美 1丁目 12-25
営業時間 11:00～16:00
定休日 木曜日



～人気メニュー～
★クロワッサン
ショコラ

～お店の方から～
インド人シェフのカレーを
食べに来てください！

インド料理レストラン ガネーシャ

6 軒目

本格的な インド料理を味わう

～人気メニュー～
★バターチキン
(単品ではチーズナンも人気です！)



柏崎市穂波町 9 - 8
営業時間 11:00～14:30
17:30～20:30
定休日 水曜



インド料理レストラン「ガネーシャ」は、国道沿い8号線沿いにあります。カレーはインド仕込みで、ナンと良く合います。9種類のカレーから選ぶことができ、とても美味しいです！単品でチーズナンもテイクアウトすることができます。
また、以前にも平成29年度「柏崎野菜応援プロジェクト」で柏崎野菜マコモタケを使ったオリジナルメニューを共同開発していただき、『ローカレッジ』Vol.7でオーナーの福井さんへの取材の様子を掲載しました。福井さんは産大の先輩で、学生の活動を応援していただいています！テイクアウトは現在も行っています。

7 軒目

「白」か「黒」 あなたはどっち？

こだわりラーメン 味の横綱

～お店の方から～
コロナ禍でオンライン授業になるなど大変ですが、目標を見失わないように頑張っています。

～人気メニュー～
★餃子
★チャーシュー丼



柏崎市堀 2251-1
営業時間 火曜 11:00～14:00
水曜～日曜 11:00～20:00
祝日営業
定休日 月曜



～お店の方から～
今までにないような辛い状況の中ではありますが、あんなことがあったねと笑いあえるようにめげずに頑張っていきたいと思います。

～人気メニュー～
★つけ麺
(5月頃テイクアウトピーク時)
※今はテイクアウトのメニューにはないです

柏崎市幸町 1 - 30
営業時間 11:00～14:30
17:00～21:00
定休日 木曜



麺屋 次男坊

濃厚な魚介ベースの だしが特徴

柏崎駅から徒歩5分ほどの国道8号線沿いにあります。私たちが今回テイクアウトしたマールボーつけ麺、坦々つけ麺は濃厚で味わい深く、とても美味しかったです。是非食べてみてください！メニューは減っているそうですが、テイクアウトは行っています。

#柏崎エール飯

23年おすめ店ピックアップ

13 軒目



中華美食館 12 軒目

長年産大生に愛され
老舗中華料理店



約25年前に産大の経済学部を卒業し、その後結婚して帰化しました。卒業後、最初は貿易会社を設立したそうですが、約6年後、現在中華美食館がある場所に当時あったお店の大家さんに依頼されて約20年前に中華美食館をオープンしました。3年後には分水に、10年後、三条にも出店しました。しかし管理が大変なため分水店は撤退し、現在貿易会社と中華美食館（柏崎・三条）を運営しているそうです。今年は新型コロナウイルス拡大の影響で貿易事業がダメになっているので、今は中華美食館に力を入れています。また産大の卒業生も採用しています。



柏崎市東本町 2-7-5
営業時間 17:30 ~ 27:00
定休日 年中無休

Cafe Confine

地域イベントも
精力的に開催↓



Cafe Confine は桜木町と春日町の境にある静かな町中のカフェです。店名のConfineは「境界線」の意味で、「コーヒーを飲んで気分の切り替えるきっかけになってほしい」という店長の思いが込められています。店長の坂井さんは高校まで柏崎で過ごし、東京の大学に進学したそうです。その後、地元のカフェがないことに注目し、7年前に店をオープンしたそうです。

仕事のやりがいを探ねると「もともとやりたかったカフェをやっているだけです」というあっさりとした返答が返ってきましたが、HPやインスタグ



柏崎市桜木町 13-4-2
営業時間
(月・火) 11:00 ~ 18:00
(木・金・土・日) 11:00 ~ 22:00
定休日 / 水曜日・第2、4日曜日

#柏崎エール飯

柏崎観光協会・明るい柏崎計画に聞く

10月末「#柏崎エール飯」の主催者である柏崎観光協会の飛田成雄さんにお話を伺いました。HPや店舗の方からの情報だけでは得られなかった事業内容について聞くことができました。

「#エール飯」とは?

「#エール飯」という事業は「美味いはコロナに負けない」をスローガンにテイクアウトで飲食店を支援しようと始まったものです。3月18日に別府で始まった「#別府エール飯」が最初で、そこから全国各地に派生し、柏崎でも「#柏崎エール飯」として4月29日に始まったそうです。

「#柏崎エール飯」は柏崎観光協会、柏崎商工会議所、柏崎あきんど協議会の3団体が主催、明るい柏崎計画が運営・協力団体として参加しました。観光協会が飲食店のサポートという少し違和感を感じますが、観光協会の会員の4割ほどが飲食店関連の方々という点で今回のサポート事業を行うことになったそうです。協力店は観光協会と商工会の会員の飲食店中心に300軒ほどに声がけし、情報を集めました。



地域の方々に好評で…

「#柏崎エール飯」は、協力店舗一覧を新聞に挟み込んだり、HPを立ち上げたりしてスタートしましたが、始まって即日大きな反響があり、参加店には多くの注文が寄せられたとのこと。また、スタート間もなく、シルバー人材センターと大和タクシーから宅配の協力の申し出がありました。こちらは利用時に1回200円かかりますが、注文数が増えても手数料は変わらず利用できるそうです。エール飯企画をやっていく中でテイクアウトやデリバリーの経験がない飲食店も多く、この宅配協力は店舗・住民双方にとつととても有益なものとなりました。

エール飯の事業の

発展と今後

11月初めから「#柏崎エール飯」の管理運営主体は、最初に企画を提案した「明るい柏崎計画」に移ったそうです。そこで12月22日に「明るい柏崎計画（株式会社AKKプラス）」の竹内一公さん、長沢智信さんを外部講師としてお招きし、事業が始まったきっかけや反響、今後の展望について伺いました。



柏崎の明るい未来のために行動する若手経営者の会である「明るい柏崎計画」はこれまで「いのちをつなぐラジオ」の開発を手がけるなど、市内の事業主が連携して情熱的に活動を展開しています。

3月現在もHPなどでの活動は続いており、ネット上でのテイクアウト申し込み受付を始めなど、今後の更なる展開が期待できます。また、平日は毎日11時半から13時半まで市役所新庁舎1階の売店で地元特産品や市役所職員向けのお弁当販売を行っています。

「コロナ禍が収束した後も、柏崎の美味しいお店を知って、「#柏崎エール飯」を付けてSNSで情報発信すること、私たちでもできる、楽しく、美味しく、柏崎を元気にする小さな行動の一つではないでしょうか。」

「#柏崎エール飯」
<https://kashiwazaki-yell-meshi.com/>

特集② コロナ禍でも地域連携活動は止まらない！

令和2年度春学期～初秋 ゼミナール活動紹介

令和2年度の春学期の授業は、世界的に拡大した新型コロナウイルスの影響で、対面ではなくオンラインで実施されました。そのため前年度までのようなゼミナール活動を行うことが思うように出来ませんでした。が、そうした状況下でも各ゼミナールで出来る活動を考え、少しずつ地域での活動を再開していきました。

※ このページにおけるゼミナール活動については、令和2年度春学期～10月末までの取材内容で構成しています。

アグリ・フードビジネス分野 金ゼミナール

金ゼミナールでは、ゼミが所有する畑を活用し、地域農業体験の一環として野菜栽培を続けており、収穫した野菜の販売も行っています。

新型コロナウイルスの影響により、産大では多くのゼミナールが対面での活動を断念していました。そのような中でも、金ゼミナールは感染対策をしっかりと上でいち早くフィールドワークを実施しました。金ゼミナールの平常時の主な活動である野菜栽培は、学生が頻繁に集まるため、春学期は断念することとなりました。そこで、短期間で行うことができ、県の補助金事業でもある農園・農業施設への見学に絞って



▲ 海沿いでわさびを栽培している石地わさび園と、シモダ産業の「越後バナナ」のビニールハウス



▲ 株式会社ベジ・アビオでのICTを活用した園芸施設

活動することとなりました。感染対策として、移動の際に密にならないように、学生の人数に対して大型のバスを手配するなど、細心の注意を払いながらの活動となりました。フィールドワークでは、県内では珍しいバナナ栽培に取り組むシモダ産業の農園や鎌田養鶏、石地わさび園といった市内の事業所を訪れ、また新潟市まで足を伸ばして株式会社ベジ・アビオの先進的な植物工場・施設園芸を見学しました。

オンライン環境下でのゼミナール活動では、わざわざ大学やゼミナールの畑に移動する手間が省けるという利点がありました。しかし、オンライン化によって無機質なメールでの課題のやりとりが増え、コミュニケーションの機会が減ってしまいま



▲ 秋には金農園での活動も少しずつ再開しました



した。それまでの金ゼミナールが平常時に行っていた活動は、農作業やディスカッションの性質上、実物に触れての活動やフィールドワークを通して学ぶことが多いものでした。そうした普段のゼミナール活動がオンライン化によって失われたことにより、金ゼミナールの学生だといふ所属意識が薄れてしまうといった、オンライン化の弊害の方が大きくなっていました。そうした中で、今回のようなコロナ禍でフィールドワークを実施したことは、ゼミの学生たちに所属意識を持たせ、また、金ゼミナールの普段の活動に戻るきっかけづくりにもなったのではないのでしょうか。

地域振興政策分野 平野ゼミナール

平野ゼミナールは、高齢者福祉・障害者福祉・地域福祉などをテーマに調査研究活動を行っています。特に4年生は、これまでの集大成として卒業研究に取り組んでいます。今回は4名の学生（稲田さん、大野さん、尾崎さん、菊池さん）が取り組んでいる「バリアフリー調査」について紹介します。

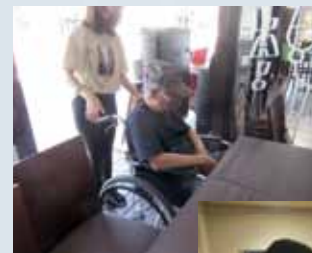
Q. どのようなかたちで調査をしているのでしょうか？
A. 今回の調査は、NPO法人地域活動サポートセンター・柏崎が行っている活動に協力するかたちで、柏崎市の飲食店や施設のバリアフリー度を調査しています。調査は、高齢の方や車椅子を使用されている方と一緒に進めます。

▲ お店の方にインタビュー



▲ 出入り口の幅を計測

▲ 車椅子の方と確認



▲ トイレの状況を記録



Q. 具体的な調査内容は？

A. 調査の内容は、全体として、障害者専用の駐車スペース、自動ドアや段差、誘導ブロック、点字案内板、車椅子対応のトイレの有無などになります。そして、学生個人の研究テーマとして、トイレの状況、バリアフリーに関する店主の思い、決済方法、お店のインテリアや差尺などについて調査します。

Q. 最後に一言

A. 調査はまだ途中ですが、これから高齢の方や障害のある方ない方も含め、すべての方々が安心安全で楽しく暮らせるまちづくりに貢献できるように頑張っています。

※ なお、この調査を手がけた平野ゼミ4名のみならず、精力的な活動が評価され、年度末に学内で表彰する「地域連携活動賞」の団体での受賞を果たしました。

まちづくり・地方行政分野 権田ゼミナール

【「新人生オンラインイベント」】

権田ゼミナールでは、新型コロナウイルスの影響で思うような大学生活が送れずに困っている新人生のために何かできないかと考えました。そこで、6月16日にZOOMで「新人生オンラインイベント」を開催しました。参加した1年生は10名程度と必ずしも多い人数ではありませんでしたが、延長戦も含め約2時間、様々な話で大いに盛り上がりました。学友会をはじめ、ライフセービング、バドミントン、剣道、女子バスケ、書道、茶道、軽音、芸術文化、サバゲーなどの部活、同好会の代表者も参加してくれました。



▲ 初めてのオンラインイベントに挑戦



▲ 個人での準備が難しいデザインソフトの操作を大学のPCで学びました



新人生からは「顔合わせが中止になったため、このような機会をつくっていただきありがとうございます」「これからの大学生活の役に立ちました」といった嬉しいコメントが多くありました。

【「K・Vivo」で活動再開！】

7月には、約半年ぶりに柏崎駅前のコワーキングスペース「K・Vivo」での活動を再開しました！

広報誌『ローカレッジ』の発行を目指し、必要なデザインソフトの基本操作を学びました。密を避けるため、ゼミ生は2チームに分かれて交代で施設を訪問し、作業をしました。

特集② コロナ禍でも地域連携活動は止まらない！ オンライン&対面で各種イベント開催！！

全ての授業がオンラインでの実施になった春学期。授業以外の課外活動や入試広報活動など、学生生活に係る様々なイベントも、オンラインでの実施や感染対策をしながらの対面実施など、工夫を凝らして「今、できること」からアクションを起こしました。

様々な制約の中で苦労もありましたが、「Zoom」などのwebツールの活用といった新たなコミュニケーションの方法を修得するチャンスにもなりました。

オンライン部活動紹介

6/3・6/10

これまで部活動紹介は入学式直後の新入生学外合宿研修のイベントの一つとして、毎年行われていました。しかし今年度は合宿自体が中止となつてしまいました。また、授業形態がオンライン授業になったり、学校への立ち入り制限が設けられたりしていました。

そんな中、キャンパスでの学生生活を送っていない新入生のために、オンラインを利用した部活動紹介が学友会の主催で開催されました。6月3日と10日の2日間で、27団体の部活やサークルがオンラインで活動紹介を行いました。参加学生は2日間あわせてのべ約160人になりました。どの部活も工夫を凝らした発表をしていました。

部活動紹介を担当していたサバイバルゲーム同好会部長の文化経済学科3年の鈴木白夜さんは、「新入生を同好会に勧誘する場がなくて困っていたが、この企画をきっかけに仮入部をしてくれた」と話します。参加者の中で実際に仮入部をしてくれた新入生は4割ほどにもなり、このような企画は1年生にとつて、とても価値のある時間になったのではないかと感じました。



5/23・6/20 オンラインオープンキャンパス

今年は5月23日と6月20日に初の試みとして、web会議ツール「Zoom」を用いた、オンライン形式のオープンキャンパスを開催しました。学生スタッフは自宅からアクセスし、大学概要説明や体験授業のほか、普段行っているキャンパスツアーの代わりに学生トークQ&Aのコーナーを設けました。

6月20日のオンライン形式のオープンキャンパスに参加した学生スタッフは「参加者とスタッフとの心の距離を感じ、対面よりも難しかった」と当時の苦勞を聞かせてくれました。物理的な距離があるため、参加者に質問を投げることが難しくなり、それに加えて、web上で顔を出さない参加者が多くみられたこともあって、距離を感じたものとなったようです。

7月11日には、対面形式とオンライン形式の二つの形態での同時開催となりました。対面でのオープンキャンパスは例年よりも時間を短縮したり、様々な感染対策をしたりして、今までとは異なった形式で行われました。参加者が危ぶまれましたが、昨年とほぼ同程度の参加者があり、このような時期ですが、対面で参加してくれた高校生が多かったことは、スタッフ一同大変喜んでいました。

一方で、首都圏など広い地域からの参加が可能となり、コロナ禍で不安を感じていた高校生にとっては、産大に興味を持ってもらえる良い機会となったのではないだろうか。



7/1 松井まさみちオンラインライブ 産大OBから在学生に贈るエール

7月1日19時から、本学卒業生で現在プロのミュージシャンである松井まさみちさんによる『松井まさみちオンラインライブ』産大OBから在学生に贈るエール』が在学生や教職員限定で開催されました。在学生はオンライン授業と同じく「Zoom」にログインし、自宅からライブを鑑賞しました。今回のライブは、大学に通えず、楽しい学生生活や就職活動もなかなか思い通りにならない日々を送っている学生と「音楽の力」で楽しいひとときを過ごしたいということで、松井さんからライブ実施の提案をいただき、実現しました。



▲ライブ配信中の松井さん

ライブでは、松井さんが産大生だった頃の話や、在学生へのメッセージななどを曲と曲の間に交えながら全6曲を熱唱しました。途中、水球応援ソング『Seven Warriors』では練習中の水球部女子学生と中継を繋ぎ、練習している様子が映し出される中で、松井さんが熱唱しました。また、本学のカレッジソングである『NSU』では学生や教職員も一緒に歌い、大いに盛り上がりました。最後はアンコール曲として、最新曲で映画『無頼』の劇中歌である『いつかきつと』を歌い上げました。約30分のライブはあっという間でしたが、松井さんの歌声から伝わってくるエールを感じ取ることができ、楽しいひとときを過ごすことができました。



▲教職員は大教室に集まってライブ鑑賞

8/19-26 博物館学芸員課程 学内実習

今回、コロナ禍で行われた博物館実習は、「学内実習」と呼ばれているものです。実際の博物館で行われる「学外実習」の前に、基礎となる技術を身につけるための、大変重要な実習です。実習は8月19日から26日の6日間で行われました。当時はまだ夏季休業中で、学内は入館が規制されていました。教室に入ると、三人掛けの机を一人で使い、それぞれの机に消毒液の入ったスプレーとペーパータオルが配られているという状況でした。

はじめのうちは、あまりの厳戒態勢ぶりに驚いていました。しかし、数か月ぶりとなる対面授業の感覚を取り戻すことに必死で、すぐに気にならなくなりました。

三井田先生からは、効果的な展示・記録の方法、来館者の視線はどこに向かっているかといった、博物館での実



今年の学内実習は、例年に比べ期間こそ短いものでしたが、内容の密度と学生の集中力は一段高いものになったと思います。学内実習の内容をしっかりと身に付け、学外実習に臨みたいですね。

※ 柏崎市立博物館をはじめとした地域の受け入れ施設のご協力により、例年よりも遅い秋から初冬にかけて、学外実習も無事、終わることができました。



1月14日、「地域理解ゼミナール」1期生である現2年生による、初めての合同発表会が開催されました。新年早々からの記録的な大雪のため、発表会前日まで全学休講が続く、当日もまだ鉄道が運休していたため、リモートで参加する学生も見受けられました。秋学期に開講した6分野のクラスによる成果発表では、各グループで協力して準備を進めて来た様子が窺え、いづれも柏崎を中心とした地域の産業や文化についての興味深い発表でした。3年次からは学科ごとの専門分野に分かれての「地域活性化ゼミナール」にステップアップします！



地域経済政策分野
担当教員 黒岩直先生
黒岩先生の講義では、地域活性化について様々な視点から学びました。地域が実践している取り組みから地域活性化のヒントやプロセスを考えてみると、経済学をもとにして活性化を考えるという講義を受けました。フィールドワークでは、地域で活躍する企業として、柏崎信用金庫と植木組を訪ねました。担当の方からは、それぞれの企業の仕事の内容や、地域への貢献活動について説明を受けました。どちらの企業とも、日々の仕事自体がそのまま地域貢献となり、そのまま形になっていく感覚を受けました。発表会では、以上のような内容を発表しました。発表や講義を通じて地域活性化を色んな視点から学ぶことができ、とても良かったなと思います。

(経済経営学科2年 大塚 優輝)



「水球のまち柏崎」を探究
私たちは「柏崎市が『水球のまち』と称されるのは何故か?」、「セルビアやモンテネグロが、東京五輪のホストタウン事業提携を柏崎市と結んだのは何故か?」などの疑問を解くことができました。授業では、5つのテーマ(①水球のまち推進室やブルボンKZの事業目標、②水球関連の地域イベント、③東京五輪ホストタウン事業、④地域の青少年育成、⑤ブルボンKZの強化)の中から、私はテーマ③と経済との関わりを調べるグループを選択し、期末発表会用に、(5つのグループで合計10分間の発表のうちの)2分間分の資料を作成しました。さらに、春休みに行われた「柏崎に関する研究発表会」では、私と奥一生君は大学を代表して発表を行い、貴重な経験ができました。

(文化経済学科2年 加藤 未来)

地域スポーツ分野

担当教員 佐々木 洋輔 先生



春学期は新人生の中には、柏崎市内に引越してこられることも叶わず、新潟県や柏崎市について、具体的なイメージが湧かないまま各分野の学習を進めている学生も少なくない状況でした。秋学期には全面的に対面授業となり遠方の出身学生も柏崎での生活に慣れてきた秋・初冬にかけて、ようやく選択式の半日程度のフィールドワークを実施できました。地域の産業や文化に直接触れることができ、また、様々な行事やイベントが中止になる中で、同級生たちとの見学や屋外作業の機会が持てたことは、1年生のみなさんにとって良い思い出になりました。

地域企業経営分野

担当教員 安達 明久 先生

「柏崎から世界へ」

私は秋学期に「地域企業経営分野」のフィールドワークを選択し、柏崎市内の株式会社サイカワに行きました。サイカワは1910年に石油さく井機械及び部品を製作する会社として創業され、現在は伸線機の分野を主力事業とし、国内外トップの地位にあります。工場内を見学すると、大小様々な機械が設置されていて、各製品が電線・鉄鋼線・貴金属線など様々な使用目的に応じて異なる過程で作られていることがわかりました。これらの線材は世界各国の企業と取引されているそうです。また、サイカワは2018年に経済産業省「地域未来牽引企業」に選定されました。「柏崎から世界へ」というサイカワの思いが伝わったのではないかと思います。世界各国で活躍しているサイカワに、今後も注目していきたいです。

(文化経済学科1年 池嶋 菜史)



コミュニティ・まちづくり分野

担当教員 権田 恭子 先生

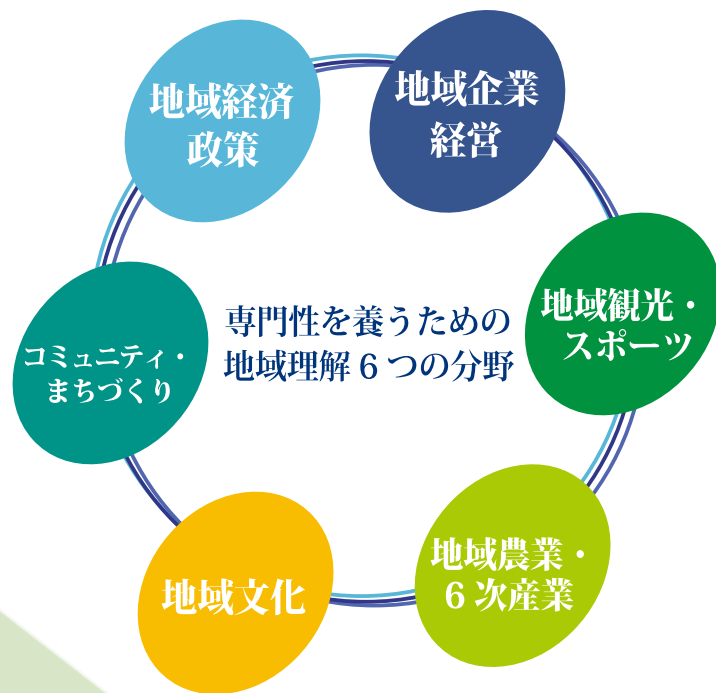
「地域のファン」を増やすPR動画
「コミュニティ・まちづくり分野」では、急激な人口減少が続いている地方都市で、地域に関わり応援していく「地域のファン」を増やすことを目的として、柏崎・刈羽の魅力伝えるPR動画の制作を行いました。これは従来の「定住人口」、「交流人口」とは異なる「関係人口」の拡大につながる取り組みとして位置づけられます。私の班は、現在コロナ禍で外食には行きづらい方も多いと考え、テイクアウトでも食べられるラーメンを題材に動画を撮影しました。自分たちで撮影の許可を取り、動画の編集をするのは初めてのことで、かなり大変でした。

発表会でみなさんに柏崎の魅力を伝えることができたと思うと、動画制作を頑張ったよかったなと思いました。これからも、地域理解ゼミナールで習ったことを活かし、もっと柏崎の魅力を伝えたいと思います！

(経済経営学科2年 橋本 竜平)

新規開講
2年目!!

地域に学び、地域をおこす 地域理解ゼミナール



2019年度に新規開設した「地域理解ゼミナール」は1、2年次の専門必修科目で、地域おこしのための6分野を柱として、地域の産業・への文化理解を深め、3、4年次の「地域活性化ゼミナール」への準備をします。

1年次の「地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱ」では、「経済経営学科」と「文化経済学科」どちらの学科の学生も共通で、1年かけて6分野をまんべんなく学びます。

2020年度には初めて2年次の「地域理解ゼミナールⅢ・Ⅳ」が開講され、各自の興味関心に合わせて、春学期、秋学期に各1分野を選択し、グループで調査・活動に取り組みました。1月には初の合同発表会も開催されました。

「地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱ」(1年次)
秋学期にはフィールドワークを再開

2021.2.18

新潟地域連携コミュニティ 地域活動・学生発表交流会

平成30年度から新潟大学を会場に開催されていた「地域活動・学生発表交流会」ですが、令和元年度の「NIGATA COC+」活動終了に伴い、この度設立された「新潟地域連携コミュニティ」が運営を引き継ぐことで、今年度も開催が実現しました。今回はオンラインでの開催となりましたが、昨年度に引き続き、権田ゼミ、金ゼミの学生が参加し、県内の学生達との交流を深めました。前半は17チームから今年度の地域活動の様子や直面した課題などの発表



▲コロナ禍での地域活動成果をオンラインで報告。県内他大学学生と交流を深めた。



表があり、例年とは違う状況下でのチームも試行錯誤しながら活動を行っていた様子が窺えました。後半のワークショップでは各大学の代表者がファシリテーターを務め、google スライドを用いて、地域活動を進める上での共通の課題や今後に向けての意見交換を行いました。

2年連続で参加した文化経済学科4年 齊藤千紘くんは「今年度、各団体がコロナ禍でもできる活動を続けていたことが分かりました。少人数のグループでの意見交換もでき、来年度の活動の足掛かりとなるいい交流会になったと思います」と、今後の展開に期待しました。

2021.2.25

柏崎商工会議所 総合建設部会 柏崎に関する研究発表会



加わって堂々と発表しました。また、今年度から「最優秀賞」「優秀賞」が選ばれました。残念ながら産大生は最優秀賞は逃しましたが、経済経営学科4年 笠原萌永さん（阿部ゼミナール）の「ユーチューブとグーグルマップを活用した地域商店の紹介による地域活性化」が、優秀賞を受賞しました。

地域と関わっての活動が困難な1年でしたが、工夫してそれぞれの研究、活動を継続させていた様子を地域の方に知っていただくことができ、今年度を締めくくる意義ある発表会となりました。



▲発表者の集合写真。皆さんお疲れ様でした！発表会の様子は柏崎商工会議所 HP から動画で視聴できます。

まちかど研究室

小学生との
新たな私たちの
交流が実現！

「コロナ禍での まち研活動」

毎年恒例のイベントとして開催されていた二大学共同プロジェクト「まち研スタンプリング@商店街」ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となりました。当初、今年度のスタンプリングは、近年マンネリ化しているということで、新しい試みにチャレンジしようと新潟産業大学の学友会と新潟工科大学の学友会で企画を考えていました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、参加する小学生の安全を守る観点から、残念ながら中止という判断をすることになりました。ただ、「コロナ禍だから」と言っているのではありませんか？というのではダメか？」と



▲初冬まではオンラインでの話し合いを重ねて、準備を行ってきた



▲半田小3年生とのオンラインでの交流会

小学校や商店街との 交流活動

いうことで意見が一致し、市内の小学校との交流会および、商店街でのヒアリング調査を行うことにしました。小学校との交流会については、市内の複数の小学校との打ち合わせを重ね、日程変更も繰り返しながら、最終的に半田小学校と比角小学校にご協力いただき、年度末ぎりの2月になって、実現することができました。

表がありました。オンラインでの交流会ということもあって反省点もありましたが、小学生にとっては初めてのオンラインでの交流ということもあり、大変盛り上がった交流会となりました。2月22日に実施した比角小学校との交流会は、小学校に訪問し、直接会って交流することができました。こちらでは、6年生が総合学習でSDGsの学習を進めていたことや、まち研の活動が目標11「住み続けられるまちづくりを」に通ずるということで、SDGsの考えを取り入れた「理想のまち」をつくろうという企画を行いました。小学生がこれからも住みたいと思える「理想のまち」をペーパークラフトの建物や、海や木などの自然、まちのシンボルとなる建物を並べて作り上げました。3月5日



▲比角小6年生によるSDGsの考えを取り入れた「理想のまちづくり」の発表会

来年度に向けて

今年度は、当初思い描いていた活動を行うことができませんでしたが、小学校や商店街との交流活動を通して、まち研の活動を止めることなく行うことができました。来年度は、今年度できなかった活動や、小学校や商店街との交流活動で得た新たな知識や意見を参考に大学生にできる活動を考え、今後のまち研の活動に繋げていきたいと考えています。



▲商店街でのヒアリング

の授業参観で完成したまちの発表会があり、大学生も参加しました。大学生にはない発想がたくさんあり、新たな発見がありました。また、商店街でヒアリング調査を行いました。例年スタンプリングに協力いただいているお店を訪問し、まち研の活動や商店街の現状、今後についてお話を伺い、厳しい意見や前向きな意見をいただきました。



NSU学生広報チーム始動!!



2020年9月、学生目線で産大の魅力を発信していく「NSU学生広報チーム」が発足しました!

今年度は様々な学生活動が制限される中で、Twitterを中心に積極的に情報発信を行いました。

4月からは新メンバーに引き継ぎ、よりパワーアップして活動して行きます。ご期待ください!



フォローをよろしく
お願いします!!

＜第1期メンバー＞(左から)
文化経済学科3年 鈴木 白夜
文化経済学科4年 齊藤 千紘
文化経済学科2年 杉田 有紀奈
文化経済学科2年 吉越 耀
文化経済学科2年 外山 未幸
(学年は2021年3月現在のものです)



「進路のミカタ LIVE2020」で大学PR!



入学式の撮影スタッフも務めました



春日先生と高柳散策



オープンキャンパスでも活躍!



就職対策講座の緊張感も紹介



クリスマスのワンシーン★



星野学長に突撃インタビュー!

「#柏崎エール飯」の
ツイートはこちら!!



まちかど研究室
(新潟産業大学権田ゼミ)
Twitter



産大生と地域のかけ橋
ローカレッジ Vol.12

2021年3月25日発行

編集・発行責任者
新潟産業大学 経済学部講師
権田 恭子

※この冊子に関するご意見・ご感想を
お寄せ下さい。
今後の参考にさせていただきます。

〒945-1393 柏崎市軽井川4730番地
新潟産業大学 地域連携センター
TEL: 0257-24-8441
FAX: 0257-22-1300
Email: renkei@ada.nsu.ac.jp

2020年2月26日に開催予定だった「柏崎に関する研究発表会」が、来場者なしで希望チームのみ動画収録という形式になったのが、地域で活動していた学生達を感じた最初の変化でした。その後、学内や地域における人々が集う場が次々と「不要不急」なものとして中止、縮小となる中で、人をつなぐ「場」を育んできた学生たちの活動も大きく制限されていきました。

春学期の授業は約1か月遅れの5月11日にオンラインで始まりましたが、ゼミ生たちは1週間後の19日には「#柏崎エール飯」事業に乗って、自分たちでSNSで情報発信するという活動をスタートしています。「無理せず様子を見よう」ではなく、「今、自分たちができることから、何か動き出さなければ!」という熱い想いが彼らを突き動かしたのでしょか。

年度末の学内外における発表会の場では、試行錯誤しながら「できることから」「できるかたちで」行動を起こしていた学生たちがいたことを互いに確認し、労い、讃え合いました。

そして1年が経ち、新年度に向けて、学生たちへの連携協力のお話も徐々にいただいています。「元に戻れる」のではなく、今年度、感じ、考え、行動したことを糧として新たな「場」の創出を目指し、これからも地域で学び続けていきたいと思っています。

編集スタッフ: 文化経済学科4年 権田ゼミナール

齊藤 千紘 三浦 義人 吉川 由 王家峰

文化経済学科3年 権田ゼミナール

五十嵐 李菜 太田 瑞希 佐藤 琴音 菅原 綾太 鈴木 白夜 竹田 岳史

田邊 青海 コラタゲチャットミニペラー スガリガルクバヤルマー 李寧

(学年は2021年3月現在のものです)